

## 2021年度事業計画

### 1. 重点方針

- (1) アフターコロナの新たな「常識」に適合すべく、従来の全日本能率連盟の内部運営の仕組みの見直しを図り、イベント・会合などの各種内部手続きの簡素化/効率化を推進する。
- (2) 事業の軸として『全能連マネジメント・アワード』を位置づけ、受賞者・応募者などを世に知らしめ、全能連の知名度向上に寄与すべく方策を検討する。
- (3) 認定者・会員団体の個別の活動、国際組織の活動から会員・認定者に対する有益情報に至るまで、全日本能率連盟のもつ知見やノウハウなどをオンラインなどを通じて共有することにより、「公益」に資する情報提供を強化する。

以上

## 2. 事業別計画

### 公1 経営・マネジメント支援等事業

#### (1) 全能連マネジメント・アワード事業

2020年における新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動制限により当初計画より変更された形で開催したが、開催実績を踏まえて2021年度も継続開催する予定。

#### (2) マネジメント関係資格称号認証・認定事業

##### 【資格称号認証事業】

- ・申請があり次第、該当委員会の審査を経て、なるべく速やかに認証するとともに、認証資格の運営状況に対して、継続し観察する体制を維持していく。
- ・認証した資格については、広く産業界に告示し、資格を取得しようとする個人や企業が的確に選択できるよう情報提供の効果を高めていく。
- ・これまで共同運営資格であったITプランニング・セールス、ビジネス・プロセス革新エンジニア、及びヒューマン パフォーマンス マネジメント・プロフェッショナルの3系統の資格については2021年度より全能連認証資格とする旨、本理事会に上程している。

##### 【MC認定】

- ・「全能連マネジメント・アワード」の開催プロモーションに併せ、SNS・パブリッシング活動ならびに、コンサルティングファームへのDMを通じて、本認定資格に関する知名度向上を図る。
- ・今年度も引き続き全能連ホームページ「認定者検索」サービスを利用する認定MC、MIの拡充を図るとともに、認定MC、MIの広報活動や知名度向上を支援する。
- ・認定MC、MI他関係者に向けた自己研鑽と相互のネットワーキングを目的とする「マネジメント交流会」や「研究会」を企画検討する。
- ・認定MC、MIにとって、最新業界動向のリサーチや自己研鑽となる有益な会員の事業情報を提供する。
- ・認定は、例年どおり4月1日とし、認定者に対し認定証の交付及び官報公示を行い、認定されたMCは全能連ホームページ上で広報する。

##### 【MI認定】

- ・「全能連マネジメント・アワード」の開催プロモーションに併せ、SNS・パブリッシング活動ならびに、社会人向け教育・研修団体・企業やコンサルティングファームへのDMを通じて、本認定資格に関する知名度向上を図る。
- ・会員が開催する社内インストラクター養成講座の受講者や企業の人材開発・教育研修担当者に向けてプロモーションを積極的に行う。
- ・認定は4月1日とし、認定者に対し認定証の交付及び官報公示を行い、認定されたMIは全能連ホームページ上で広報する。

**【会員協同資格】**

- ・資格称号認証事業の項に記載の通り、今後全能連認証資格とする旨、上程している。

(3) マネジメント関係調査研究事業

**【海外との情報交流】**

- ・国際組織ICMCIの各種事業（総会、アワード、コンファレンス、ISOなど）の紹介及び参加をMC、MMC、EMIなどの国際資格保持者に対して呼びかけ、コンサルタント同志の国際交流をはかるとともに、我が国関係者に役立つ情報提供を行う。

**【研究会】**

- ・対面式の研究会の開催などが減少し、形式が大きく変化している現在に対応すべく、オンライン化やオンラインコンテンツのストック蓄積などを模索する。

(4) 会員内事業

**【会員交流の促進】**

- ・定時社員総会開催後、また「全能連マネジメント・アワード」二次審査（発表会・表彰式）後に行う会員情報交流会の開催を通じて、会員間及び関係官庁との情報交流・アライアンスの探求など新たな事業やビジネスに繋がる「交流の場」の拡大を引き続き図っていく。今年度以降はさらにコロナ後の交流の形のあり方を模索し、オンライン併用を導入していく。

#### 収他1 顕彰者表彰事業

前年度とほぼ同様に、4月に募集を開始し9月に顕彰式を挙げるスケジュールで実施する。今後、いまだ利用の無い会員に対し利用を働き掛けるとともに、利用していただいた会員にさらに満足いただける演出・サービスの充実に努める。

以上